

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和6年7月30日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	コクロデニウム ホリクロイデス
1. 夏井沖						7月31日に調査予定			
2. 長田沖						7月31日に調査予定			
3. 片白島	8:59	0 4	27.3 23.7	32.90 33.25	10.2 12.2	0 0	2600 3600	0 0	0 0
4. 小田代	9:13	0 3	27.4 26.1	31.37 32.70	10.7 13.0	0 0	3200 4300	0 0	0 0
5. 沖松浦漁港	9:17	0 5	27.1 22.2	32.17 33.18	11.2 13.9	0 0	12200 12000	0 0	0 0
6. 鶴見振興局裏	9:20	0 2	27.6 27.1	31.46 31.91	11.4 12.3	0 0	10400 6800	0 0	0 0
7. 鶴見ボンツーン	9:25	0 2 4 10 10.7 11.7	27.5 27.5 22.4 20.9 20.8 20.7	31.60 31.71 33.23 33.53 33.53 33.54	10.9 11.6 13.1 6.9 6.5 6.0	0 0 0 0 0 0	1325 2325 3175 300 200 650	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0
8. 石間	10:27	0 5	27.2 22.9	32.38 33.34	11.3 16.5	0 0	425 9000	0 0	0 0
9. 霞ヶ浦	10:39	0 5	29.3 21.2	32.37 33.47	9.5 10.1	0 0	0 2600	0 0	0 0
10. 守後	10:47	0 4	28.1 22.0	32.50 33.41	9.6 15.0	0 0	93 1925	0 0	0 0
11. 片神	10:53	0 5	26.6 21.7	33.00 33.45	12.0 14.7	0 0	475 6100	0 0	0 0
12. 片神～彦島	11:05	0 8	28.7 21.4	32.51 33.59	10.4 9.6	0 0	775 775	0 0	0 0
13. 水試前	11:18	0 2	24.8 23.5	33.57 33.53	11.5 12.2	0 0	5700 3800	0 0	0 0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
コクロデニウム・ホリクロイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

*アヒ、サエ等ではカレニア・ミキモイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

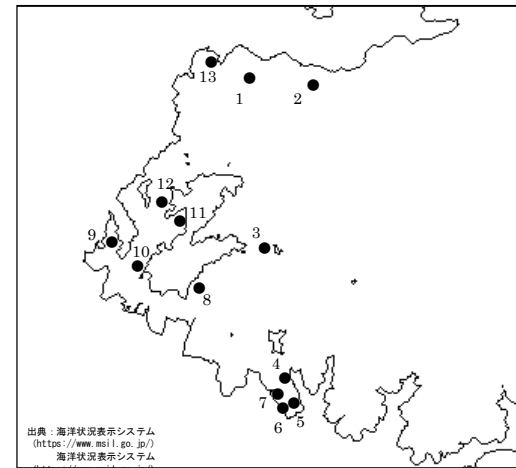
*マグリに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイが確認されました。

多くの地点で注意・警戒密度を超えています。ご注意ください。

今後の細胞密度の推移にご注意下さい。



出典: 海洋状況表示システム
(<https://www.mri.go.jp/>)
海洋状況表示システム
(<https://www.mri.go.jp/>)
を加工して作成

図. 調査地点図